作成日：2026.9.24

第 29 回へき地・離島救急医療学会学術集会

プログラム

8:45-8:55（10 分）
開会の辞

会長あいさつ
公益社団法人地域医療振興協会 有田市立病院管理者　　加藤 正哉

8:55-9:50（55 分）
一般演題 1（口演）

（口演 6 分+質疑 3 分）×6 演題、まとめ 1 分
座長
演者
① へき地医療機関で経験したガンマブチルラクトン集団中毒
　西日杵医療センター 高千穂町国民健康保険病院　佐藤 良亮
② 非高エネルギー外傷による股関節後方脱臼を徒手整復した 1 例
　市立函館病院　小林 奏美
③ 頸動脈超音波を用いた与那国島民の血管評価
　与那国町診療所　岩松 託也
④ へき地発生の院外心停止を救う移動救急手術室ドクターカーV3
　八戸市立市民病院 救命救急センター　十倉 知久
⑤ 民間医療搬送用ヘリ運行休止前後の患者航空搬送の変化
　長崎県対馬病院　平戸 優樹
⑥ 地域の医療課題に適応する多目的移動診療車の開発構想
　自治医科大学 救急医学講座　米川 力

09:55-10:00 （5 分）

休憩

10:00-10:45（45 分.指定討論）
会長講演

会長講演
座長　国立病院機構 長崎医療センター　院長 髙山 隼人
演者　公益社団法人地域医療振興協会有田市立病院管理者・会長 加藤 正哉（30 分）
指定発言 公益社団法人地域医療振興協会 会長 吉新 通康（15 分）

10:45-11:45（60 分）
スポンサードシンポジウム

へき地・離島における救急システムの目指す姿～遠隔集中治療システムと地域医療連携構想を土台に～
座長 株式会社 CROSS SYNC 事業推進部部長 山田和幸
① 自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部 統括 讃井 將満
② 和歌山県福祉保健部 福祉保健政策局 医務課 地域医療班長 藏光 良
③ 株式会社 CROSS SYNC 代表取締役 CEO 田中 正視

11:50-12:40（50 分）
ランチョンセミナー

医食のチカラ ～へき地・離島の日常と有事を支える食の力～
日清医療食品株式会社

12:50 -13:10（20 分）

総会

（口演６分+質疑３分）×6 演題、まとめ１分
座長
演者
① 病院を基盤とする地域枠医師の新たなへき地診療所派遣体制
―和歌山県２地域における体制形成と初期課題―
和歌山県立医科大学 地域医療支援センター 多田 明良
② へき地に救急医は必要か －関係機関へのアンケート調査と検証－
宮崎大学医学部附属病院 高度救命救急センター 黒木 琢也
③ グループ病院スケールメリットを活かす 24 時間専門医相談システム
「それでいいよプロジェクト」の試行報告
医療法人徳洲会 北谷病院 仲間 直崇
④ 鹿児島県の地域枠医師における専門医取得に関する調査報告―第２報―
鹿児島大学病院 地域医療支援センター 古田 真美
⑤ 地域枠医師は、どのような専攻医を選択し、医療提供体制に効果を
もたらしているか
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 離島へき地医療人育成センター 水間 喜美子
⑥ キャリア早期医師の都市部ロックインと分布動向：1996・2006 年コホートでの
10 年間の縦断分析
帝京大学ちば総合医療センター 井上 和男

13:10-14:05（55 分）
一般演題２（口演）

タイトル
座長 八戸市立市民病院 事業管理者 今 明秀
演者 ＮＨＫ大相撲解説者 舞の海 秀平

14:05-15:05（60 分）
特別講演

テーマ「持続可能なへき地・離島の救急医療」
座長
横須賀市立総合医療センター副管理者兼救急総合診療部長 本多 英喜
日光市民病院 管理者 杉田 義博
演者
① 宮崎県立延岡病院 総合診療科主任部長 松田 俊太郎
② 市立奈良病院 総合診療科部長 山口 恭一
③ 日光市民病院 管理者 杉田 義博
④ 長野原町へき地診療所 所長 金子 稔

15:05-16:35（90 分）
シンポジウム

公益社団法人地域医療振興協会有田市立病院管理者・会長
加藤 正哉

16:35-16:40（5 分）
閉会の辞